

【取組内容⑤】デジタルシチズンシップ教育の推進（2）

家庭におけるメディアとの付き合い方（メディアバランス）を考えさせる実践 2年 特別活動「メディアバランスを考えよう」



情報端末(タブレット型PC)を始めとする、生活を取り巻くメディアとの付き合い方について考える授業。本授業では特に帰宅後のメディアとの付き合い方（メディアに接する時間等）について取り上げ、健康的な生活を送るにはメディアとどのように関わっていけば良いかを児童個々に考えさせた。

まず、帰宅後のメディアとの極端な例を教師が示し、問題点や改善点を考えさせた。（グループ活動）



思考共有アプリに教師が準備したひな形に自身の帰宅後の計画を作成。健康的な生活を送るためというめあてのもと、どのようにメディアと関われば良いか考えながら作成。



それぞれの児童の計画を共有し、自身の計画と比較。他の児童の計画の優れている点などを見つけ、自身の計画をより良いものにする。

本授業は公文にて保護者とも情報を共有。家庭でのメディアとの関わりについて考える機会を作った。

＜成果および課題等＞

○児童それぞれがメディアとの関わりについて関心を持ち、健康的な生活を送るためには、主に時間的にどのように関われば良いか考える事ができた。

▲メディアとは何かについてより深く考えさせる必要があった。メディア＝悪ではなく、メディアの良さ、メディアによってもたらされる恩恵や質などにも踏み込む必要があった。

授業実践ビデオについて

本校では、「教育関係者及びリーディングDXスクール事業関係者のみに公開する」という条件のもと保護者に公開許可をいただいております。視聴希望される方は

<http://izena-sho.izena.ed.jp/category/dxschool/>
よりリンクされています、視聴申請フォームよりお申し込み下さい。